

茶入

中国歴	南北朝	隋	唐	五代	北宗	南宗	元	明											
		581	618		907	960	1127	1260	1368										
	1200			1400			1600			1700			1800						
和歴	大和	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	戦国	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成					
		593	710	794	1192	1338	1392	1467		1574	1603	1868	1912	1926	1989				
	弘仁 810 承和 834					応永 1395	永享 1429	応仁 1467	文明 1469	長享 1487	永録 1558	天正 1573							

唐物

漢作
唐物中国産
一時代古く上作

唐物
加藤四郎景正が道元禅師と入宗 製法を学び中国の土、釉で瀬戸にて焼いたものを含む

島物
中国南部、南方諸島を經由し到来

松平不味『古今名物類聚』
漢作 中国産
唐物 加藤四郎景正作

漢作唐物の多くは足利將軍家が対明貿易で輸入所持者の名で命銘
中興名物は名所や和歌（古今集、伊勢物語）

肩衝『投頭巾 遅桜肩衝 新田 北野 油屋 玉堂』
茄子『国司 北野 富士 付藻 松本 宗悟』
文琳『珠光 酸漿 本能寺 岩城 田村』
瓢箪『上杉 因幡 玉津島』
大海『打雲』
丸壺『志野 天下一 木下 金森 土田』

和物

瀬戸

真中古
藤四郎春慶
加藤家二代目

金華山窯
三代目

破風窯
四代目

後窯
瀬戸の陶法、遠州時代京都の作家もいる
「空也」の底に釘彫り『早く焼き頼み入り候』

国焼
一瀬戸以外の各地のお国一

その他
楽 京焼

大名物「槍の鞘 山の井 横田」
中興名物「在中庵肩衝 相坂丸壺 伊予簾」

「面影 猿和 歌橋姫」

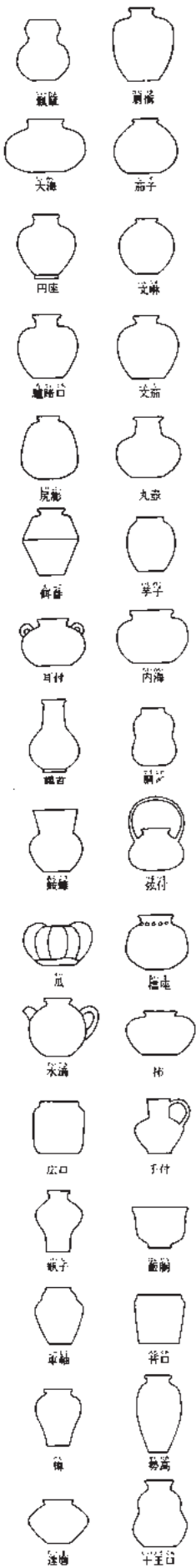
「飛鳥川 玉柏 村雨 滝浪 三輪山 大津 広沢真如堂」

「翁 凡 よえり脣 天筒山 潮路庵 音羽山 正木」

利休窯「地蔵」
織部窯「みおつくし」
正意「初祖」
万右衛門「田面」
新兵衛「弁吉」
宗伯 吉兵衛
茂右衛門 源十郎
鳴海

備前 利休「布袋」
織部「佗助」
高取「秋の夜、染川、手枕、横嶽、腰蓑」
膳所「大江」丹波「生野」
薩摩「忠度、雨十」
遠州は大名を通じて窯場に指導・発注

遠州の形・在中庵形「大江」・紡鐘形
・丸壺形・鯨鱗形・耳付・弦付



漢作唐物	唐物	古瀬戸	真中古	金華山窯	破風窯	後窯	国焼			
漢作唐物 大名物  国司茄子	漢作唐物 大名物  松屋肩衝 重文	唐物  利休円座	古瀬戸 尻彫 中興名物  伊予簾	古瀬戸 肩衝 中興名物  在中庵	真中古窯 面取手 中興名物  染色	金華山窯 真如堂手本歌 中興名物  真如堂	破風凡手 中興名物  よえり脣	後窯 新兵衛作 中興名物  空也	膳所 中興名物  大江	薩摩 酒井屋名物  亀の尾
漢作唐物 大名物  上杉瓢箪	漢作唐物 大名物  利休丸壺	唐物 大名物  白玉文琳	古瀬戸 肩衝 大名物  横田	古瀬戸 瓢箪 中興名物  春慶瓢箪	真中古窯 小川手本歌 中興名物  小川	金山華窯 玉拍手 中興名物  常盤	破風窯 中興名物  天筒山	後窯 宗伯作 中興名物  不聞猿	伊賀  伊賀丸壺	唐津 中興名物  思川
漢作唐物 大名物  日野肩衝			古瀬戸 大海 中興名物  節季大海	唐物と古瀬戸は遠州以前に著名になった大名物と以降の中興名物がある		金山華窯 広沢手本歌 中興名物  広沢	破風後窯 中興名物  正木	後窯 利休窯 中興名物  利休地蔵	伊賀 中興名物  関寺	高取り 名物  女郎花
								後窯 正意作 中興名物  六祖		